

何なにを見て、か、考かんがへてゐるか
壁かべにもたれてならんだら――

風かぜの夕空ゆうぞらに冬ふゆの星ほしが一つ

日暮明りにたった一つ

風かぜに吹かれてまばたきして、
白しろく光ひかってたった一つ

堤の貉

雨あめの降ふる晚徳利ばんとくりさげて

小僧こぞさんひよこ〜何処どこへいく

小僧こぞさん法衣ころもで顔かくし

「在家ざいけへお酒さけを買かひに来た」

お酒さけなみ〜お肴さかな買かって

小僧こぞさんひよこ〜お帰かへりか
従ついてきや堤つみで不意ふいに消きえ

「勘定かんじは晦日みそかに取りとに来な」

晦日みそか尋ねりや芒すすきの中なかに

茨いばらをかぶつて貉たぬきの巢す
奥おくで誰だれかゞしやがれ声こゑ

「せんだのお酒さけにあてられた」

歌祭

空そらにやちらく〜お星ほしさま

何かなに夜花よばなが匂かほります

涼すずしい窓まどをみなあけて

みんなで歌うたをうたひませよ